

## 名取市男女共同参画情報紙

# ハンド・イン・ハンド 21 プラス *Hand in Hand 21 Plus*

プラス16号 2019年 3月



Q. ARIママネット  
はどのような  
活動をしてい  
ますか？

### 「男女共同参画社会」 って何だろう？

(男女共同参画社会基本法第2条)

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。



Q. 仕事と育児の両立について、どのようにお考えですか？

Q. 出席番号順が「男女混合あいうえお」順になって15年位になると思います。子どもたちに何か意識の変化は感じられますか？

## 特集 名取市内の取組みを紹介します！

### ● 学校教育における性教育について

名取市立不二が丘小学校にご協力いただき、学校での性教育の現状や課題を伺いました。

### ● 職場における男女共同参画

女性管理職の方にスポットを当ててどのような取組みをされているのか株式会社アットシステム代表取締役の佐宗さんと同社デザイン部長の高橋さんに取材をさせて頂きました。

### ● お母さんの居場所をつくり、孤独感の解消を

子育て中のお母さん支援に係る取組みについて、市民活動団体の子育て支援ARI（あり）ママネットの活動をご紹介します。





名取市立不二が丘小学校にご協力いただき、第4学年担任の相澤 昌江先生に学校での性教育の現状や課題を伺いました。

## 学校教育における性教育について



相澤先生

男女共同参画の視点から、男性、女性、性的マイノリティー（LGBT等）それぞれみんな平等であるという意識形成を小さい頃から育てることが大切です。平等意識の形成は、まずお互いを知ること、つまりそれぞれの性を知ることから始まります。そこで今回は、学校教育における性教育に焦点を当て、小学校教諭の相澤昌江先生にお話を伺いました。

### Q. 学年ごとの性教育の内容を教えてください

A. 小学校では主に保健の授業で学びます。4年生では「育ちゆく体とわたし」の単元で担任が指導します。内容は体の発育や変化、初経や精通について4時間扱いで学習します。3年生は「健康と生活」、5年生は「こころ」、6年生は「病気・生活習慣病」について学びます。

### Q. 児童に対して、性的マイノリティーの教育はしていますか？

A. 教員としては理解しておかなければいけない問題であると思います。ただ小学生への指導と考えるとある時期に一律に教育するというより、児童の実態に即し必要に応じて指導・対応すべき問題と考えます。

### Q. 性教育に関して養護教諭、産婦人科医や助産師、保健師などとの連携はありますか？

A. 養護教諭と連携したこともあります。実際に妊娠中や出産後の女性教諭に来てもらい、実体験を話してもらったこともありました。また、保健センターから「妊婦スーツ」などを借りて、子どもたちに妊娠中を体験させたこともありました。

### Q. 保護者は、家庭で我が子に性をどのように教えれば良いか悩んでいる人も多いと思いますが、保護者から相談を受けたことはありますか？

A. 保護者からの相談はありません。ただ、4年生の児童から何度か質問されたことがあります。6年生だと興味を持って聞いてくる子もいました。

### Q. 性教育は、家庭、学校どちらで行うものだとお考えですか？

A. 学校、家庭どちらかの役割というより、両方だと思います。それぞれの立場から関わっていくことが大切だと思います。

### Q. 男女共同参画の視点から考えると、男女の別なく人はみんな平等であるという意識が大切だと思います。このような意識形成にかかわるような授業内容がありますか？

A. 道徳の授業の項目に「友達と仲良く助け合う」があります。男女の相互理解や協力について考える機会になっています。

### Q. 出席番号順が「男女混合あいうえお」順になって15年位になると思います。子どもたちに何か意識の変化は感じられますか？

A. 子どもたちは以前を知らないので、当たり前のように思っているようです。

### Q. 学校生活の中で、班編成や委員会のリーダーの男女比やリーダーになった人の意識や責任感は男女で違いがあると思いますか？

A. 女兒の方が、より積極性が出てきたように思います。責任感は、男女それぞれにあります。個人差があります。

### Q. 小学校において、男女共同参画を意識して取り組んでいく時課題がありましたら教えてください。

A. 子どもたちが男女分け隔てなく意識しないで学校生活を送ることです。4年生では休み時間や放課後、男女関係なく仲良く遊んでいます。そのことから男女別を意識せず協力しているように見受けられます。

### 取材を振り返って

インタビューの後、校長先生とお話させていただきましました。校長先生ご自身が奥様と同業だったため、掃除・洗濯・料理などを分担されており、その姿を見て育ったお子さんはそれが当たり前と知っているそうです。学校現場では、職場環境から子どもたちへの教育に至るまで男女平等が浸透していることを知ることができました。

女性管理職の方にスポットを当ててどのような取り組みをされているのか、株式会社アットシステム代表取締役の佐宗さんと同社デザイン部長の高橋さんに取材をさせて頂きました。

## 職場における男女共同参画

企業の役割として、経済社会の持続可能な発展や、企業の活性化の観点から雇用における男女共同参画の推進と、仕事と生活の調和の実現に向けた取り組みを推進することが求められています。

今回は女性管理職の方にスポットを当て、男女共同参画についてどのような取り組みをされているのか取材をさせて頂きました。株式会社アットシステム代表取締役の佐宗美智代さんと同社デザイン部長の高橋さなえさんからお話を伺いました。

### Q. はじめに、会社の紹介をお願いします

佐宗) (株)アットシステムは、WEBシステムの保守・管理/ホームページの制作など、技術やサービスを提供する会社です。名取市や文化会館のホームページ、市内小中学校の緊急メール配信なども手掛けています。従業員は全員正社員で、男女比率は男3:女1程度になります。

### Q. 会社の風土や職場の雰囲気はいかがですか？

佐宗) 会社自体残業はほとんどしない文化。逆にしてほしいくらいで、残業推奨デーも新設しました。人間関係は極めて良好かと感じています。有給休暇も取りやすい雰囲気です。

### Q. 会社の環境についてお聞かせください

佐宗) パソコンがあれば仕事ができる環境に変えました。家庭の事情により出社できない従業員も在宅勤務ができるようにデスクトップからノートPCに変更しました。

### Q. 雇用や評価の考え方についてお聞かせください

佐宗) 人材を大切にしています。寿退社し、横浜に転宅された従業員が仕事復帰できる様、横浜に支社を作りました。重要な社員が移動したらそこに支社をつくるという考えです。また、従業員の評価については男女関係なく会社に対する貢献度を重視しています。会社の業績に直結しない役割(見えにくい業務)にもしっかりと目を向けて評価をしています。

### Q. 仕事と家事の両立についてはどのようにお考えですか？

佐宗) 働きながら家事をすべてこなすのは大変。家族に手伝ってもらわないと大変です。夫の理解もそうですが、子供たちにも協力してもらっていました。

高橋) 家事も学校行事もすべて私がやっています。旦那の仕事上帰りも遅いです。加えて平日に休みを取るのも難しいので。その点、弊社は有給が取りやすいので対応がし易いです。

### Q. 女性として、仕事上やりにくい事などはありますか？

佐宗) 男性社員と一緒に客先に何うと、男性社員の方が上司と勘違いされる時があります。女性社長というだけで、信頼されない場合もあります。その壁をものすごく感じますね。ですので、対外的な場には男性社員と何うようになっています。

高橋) あまりありません。技術者としていくので、聞かれたことは全て答えられますし、お客様も男性女性に関係なく、対応頂けます。ただ、フリーダイヤルサポートで電話に出ると中には納得されない方がいますが、男性社員に代わり同じ説明をすると納得されます。

### Q. 仕事と育児の両立について、どのようにお考えですか？

佐宗) 出産後も仕事を頑張りたいという女性は多くいると思います。しかし、そういった環境が整っていないのが現状です。例えば保育所の申込時期が10月〜となっていますが、それ以降に出産の方が申し込む際には既にいっぱいになっていることが多く、託児所を探すのが困難です。そのような現状についても改善していくことができれば、女性の活躍の場がもっと増えていくのではないのでしょうか。



佐宗社長

高橋部長

### 取材を振り返って

今回の取材先では、働く女性の立場に立って、様々な配慮がなされており多様性を重視した会社であると感じました。また、企業努力だけでは解決し得ない課題については、行政と手をたずさえながら進める必要があると改めて感じました。



子育て中のお母さん支援に係る取組みについて、市民活動団体の子育て支援 ARI（あり）ママネットの活動をご紹介します。

## お母さんの居場所をつくり、孤独感の解消を

### きっかけは被災地視察



小川代表

代表の小川ゆみさんは以前から仙台市で子育て支援サイトや「子育てふれあいプラザのびすく泉中央」の運営に関わり、子育て支援を行っていました。3年前、被災地支援のために関

上を訪れた時に復興の現状を肌で感じ、名取市のお母さんの支援を考え「子育て支援 ARI ママネット」を立ち上げました。

「良い母親」「ちゃんとした子育て」に縛られがちな乳幼児期のママに向けて、「頑張らなくても大丈夫、そのままのあなたで子どもを大切にしたい。」という想いを込めて「ARI ママネット」という名前を付けたそうです。

### 世代を超えて子育ての意識改革を

小川さんは「子育ては本来、父親や地域も一緒になってやっていくもの、しかし現実には母親が1人で行っていて、母親にだけ孤独感がつのっている。」と言います。また、「現役子育て世代の親の世代は『子育ては母親が担うもの』という考え方があたりまえで、それが支援してほしいと望んでいる現役の子育て世代を苦しくさせている。現在は『イクメン』などの言葉がメディアに取り上げられるような状態で、まだ家庭内での男女共同参画については過渡期だと思います。今の子どもたちには男女共同参画の意識が浸透しているのでいずれ子どもたちが親になるころに父親が子育てをすることが自然なことになるのではないかともお話ししてくださいました。

「なとこ.net」ミーティング



### 取材を振り返って

子育て支援の現場を3回取材しました。小川さんは「子供が比較的少ない地域のママさんの参加する傾向が高い」と話していたことが印象に残りました。

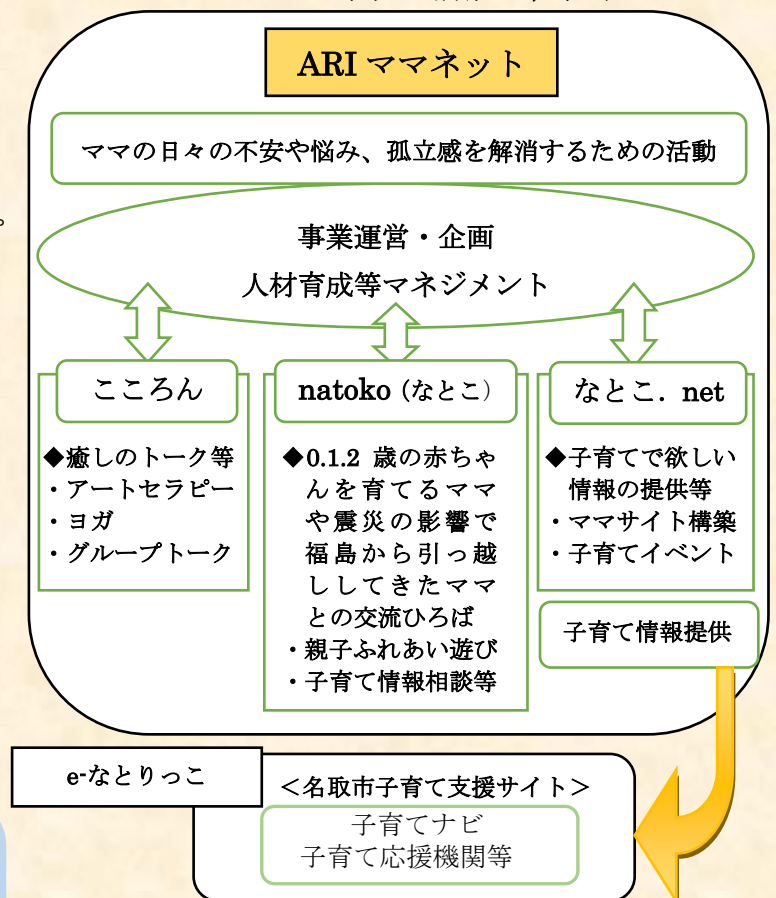
本格的な少子高齢化社会を迎え、市民同士が支え合う必要性が急務であることを痛感しました。

### ARI ママネットのプログラムの紹介

平成 28 年に、乳幼児親子の孤立防止と震災により傷ついた親子向けの心のケア事業を立ち上げ、順次活動領域を拡大し、3つのプログラムを実施している。

- ◆ 1：ママの心のケア「こころん」
  - ・平成 28 年度から西松建設の助成金を基に活動
  - ・講座、教室等随時開催
  - ・開催場所：名取市文化会館、名取市内
- ◆ 2：子育て交流ひろば「natoko（なとこ）」
  - ・「ふくしま子ども支援センター」支援を基に活動
  - ・毎月 2 回定期開催
  - ・開催場所：愛島公民館、名取市文化会館等
- ◆ 3：ママによる子育て応援ネット「なとこ.net」
  - ・平成 30 年 4 月名取市協働提案事業の採択を受けて活動。10 月には Web サイト開始。

### ARI ママネット活動の仕組み



【編集と発行】名取市男女共同参画推進委員会

名取市男女共同参画情報紙に関するお問い合わせ  
事務局 名取市総務部 男女共同・市民参画推進室  
TEL) 022-724-7146 FAX) 022-384-9030  
E-mail) danjo@city.natori.miyagi.jp